



府中市議会議員 白井克寿 (うすいかつひき)

# 白井かつひさ 市議会報告

(平成26年第3回定例会)

第9号 平成26年10月7日 発行

<http://ameblo.jp/usui1027/> (是非こちらもご覧下さい)

《所属党派》  
府中市議会市政会  
《担当委員会》  
(委員長)  
建設環境委員会  
再開発対策特別委員会

白井かつひさ後援会  
事務局(発行元)  
府中市宮西町4-9-10  
(TEL) 042-367-1002  
(FAX) 042-368-1082

府中市の事でご不明な事やご要望がございましたら、まずはご相談下さい!!

## 若さ 行動 実行力!!

### 平成二十六年第三回定例会

府中市議会では九月一日〜九月二十九日までの期間、平成二十六年第三回定例会が開催されました。今議会では通常日程に加えて、平成二十五年年度一般会計、決算特別委員会が五日間行われました。

### 平成二十五年年度 一般会計

#### 決算特別委員会

今議会では決算特別委員会が開催され、平成二十五年年度一般会計決算の歳入総額は959億3千万円となり、賛成多数で認定されました。(※反対は共産党三名・生活者ネットワーク三名)

今回の決算で特徴的な事は、歳入での法人市民税(注1)と株式等譲渡所得割交付金(注2)の大幅増額による収入増があげられます。当初の予算では財源不足が予想され、基金(市の貯金)を多く利用する予定でしたが、この二つの収入が急激に増えた為、財源不足が解消し、基金の利



用を大幅に減らす事が出来ました。アベノミクス効果が見られた良い例であると言えます。つまり企業が収益を上げて法人市民税が増えた、また株主が好調なので株式取引による収益を上げた投資家が多かったため株式等譲渡所得割交付金が大幅に増えた、と言うわけです。財政面では大変に喜ばしい事です。が、為替や株価などは景気動向や経済状況、国の金

融政策などで大きく左右される面がありますので、最初からこれらの財源を「あて」にする事は危険です。市財政における臨時ボーナス的な要素であると考えた方が良いでしょう。

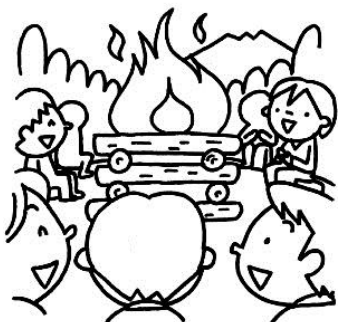
注1：市内に事業所などがある法人にかかる税です。法人の規模に応じてかかる均等割と法人税額に応じてかかる法人税割があります。本社が府中市内になくても業績が良ければ従業員数など一定の基準に応じて市の財源となります。

注2：株式等の譲渡によって所得が発生した場合には税がかかりますが、この税の一部を財源として府中市にも一定の基準により交付されます。

次に今回の決算特別委員会での私の質疑をいくつかご紹介させて頂きます。

#### 『特別支援学級の宿泊授業について』

(白井) 府中市の小学五年生の普通学級では、四泊五日のセカンドスクールを実施している。一方、特別支援学級の五年生では、宿泊を伴う課外授業は一切無い。校外での宿泊授業は、普段の学校生活では得る事が出来ない多くの学びの場があり、他の授業では変えがたい貴重なものである。特別支援学級においても、適切な行程を組み、万全の支援体制で宿泊授業を実施する事が今後の市の教育と福祉の姿勢として大切であると考えるが市の見解を問う。



(担当者) 指摘のとおり、校外での宿泊授業はとても重要なものと考えているが、特別支援学級のお子さんは、普通学級で実施しているセカンドスクールと同じ行程では、体力面などにおいて実施が困難と考えられ、今まで実施してこなかった経緯がある。一方、六年生の日光林間学校では行程を工夫しながら普通学級と一緒に実施している。五年生の校外授業においても今後は工夫をしながら実施出来るか検討を重ねていきたい。

(臼井) 全く同じ行程での行動が難しいのは分かる。行程や内容を工夫し、特別支援学級の子ども達にも無理なく参加が出来、良き教育の場となるような体制作りを要望する。

## 『新給食センター建設について』

(臼井) 新給食センターの用地が朝日町の基地跡地に決まり、事業の進捗が期待される。一方で、今後の府中市も人口が減り、少子化社会となる事が確実である。このような状況の中、日本最大級の22,000食規模となる新給食センターの必要性や提供食数の積算根拠について市の見解を問う。



(担当者) ピーク時の児童生徒数は18,500食、教職員数は1,500食、予備食として1,000食という積算をしている。アレルギー対応などをはじめ、きめ細やかな対応をしていきたい。

(臼井) この積算ではピーク時の合計でも22,000食に達しない。最新の人口推計を再度しっかりと調査し、場合によっては最大提供食数を見直す事も必要である。大きな箱物を作り過ぎて、厨房機器をはじめ周辺設備で無駄な費用がかかる事が無いよう要望する。

## 『生活保護費について』

(臼井) リーマンショックや高齢化社会などの影響もあり、生活保護に関わる費用が増加していると思われる。近年の生活保護世帯数に関するデータと生活保護にならない為に行っている市の施策、さらには生活保護費の不正受給に対する市の見解を問う。

(担当者) 生活保護費はここ五年間で約1.5倍に増加している。高齢化が原因であるとともに景気の影響も考えられる。ここ二年間は相談件数が減少している。増加数が落ち着くものと考えられる。また生活保護の予防策としては積極的な就労支援を行っている。さらに生活保護になる前に個別の状況に合わせた面談をたびたび実施し、就労支援も含めて多角的なサポートも行っている。また不正受給に関しては犯罪行為でもあるので、警察との連携を密に行っている。仮に不正受給が発覚した際には、



即時返還を求める事としている。

(臼井) 生活保護となってしまうと、そこから抜け出せなくなってしまう事が多い。また負の連鎖として、生活保護の子どもは生活保護になる確率が圧倒的に高いとのデータがある。今後ともこまめに面談を実施して頂き、就労支援をはじめ様々な形での支援体制を要望する。また病気や障害などで生活保護が必要な方へは、丁寧な対応と適切な生活保護費支給も要望する。

## 平成二十六年 一般会計

### (補正) 予算特別委員会

今議会では今年度の補正予算案も審議されました。その中から二つご紹介します。

### プレミアム付き

### スマイル商品券 スマイル建設券

地域経済活性化と市民生活の向上を目的として、10%分のプレミアムが付いた商品券と建設券が発売される事が決まりました。概要は最終ページのトピックスをご覧ください。(むさし府中商工会議所と市政会が毎年要望を出し続け、やっと実現する事が出来ました。)

### 小中学校の空調設備完備と

### LED電球の導入

市内小中学校の空調設備が全校完備され

る事となりました。また照明器具もLED電球の導入が決まり、環境教育が期待出来るとともに電気代の節約にも一役買いそうです。

## 一般質問より

今議会でも一般質問を二件させて頂きました。手前味噌な話で恐縮ですが、市政会で毎議会一般質問をしているのは臼井だけです。これからも一般質問を通じて常に行政に様々な提案をしていきたいと思えます。

## 入札制度の整備と 市内事業者の育成について

(臼井) 入札制度の整備を行い、市発注の公共工事の際は、市内事業者がなるべく受注出来るよう制度の改善をお願いしたい。市内事業者が受注する事により企業育成が進み、さらには地域経済の活性化にもつながると思われるが市の見解を問う。

(高野市長) 市内事業者に適正な労務単価、工事価格で受注して頂く事で企業育成はもとより、地域経済の活性化に直結すると考えている。これからもより一層の中小企業支援策を行い、さらには市内事業者に対して受注



機会の拡大を図っていきたい。(臼井)ここ数年、極端に市発注の公共工事が減額されている。中長

期的な視点で計画的な発注を行って頂きたい。これからは公共工事の一定規模の予算確保と平準化を求めたいが市の見解を問う。

(担当者) 指摘の通り、ここ数年公共工事が大幅に減額されている。インフラや公共施設の整備をしていく上で、今後は適切な予算措置に努めていきたい。また将来的には給食センター、市庁舎建替えなど大型公共工事も控えているので、出来る限り市内事業者に受注出来るような入札制度の整備に努めていきたい。

※早速、市内事業者の受注機会拡大など、入札に関係する新たなルール作りに着手してもらっております。

## 危険ドラッグに対する 市の取り組みについて

(臼井) 昨今、危険ドラッグを起因とする事件が日本中で多発している。薬事法の様々な規制を逃れ、法律で取り締まる事が出来ない薬物が多く存在し、若者たちを中心に気軽に購入、使用する事が出来る薬物となっている。危険ドラッグに関する正しい知識を多くの市民に持つてもらい、危険ドラッグを起因とする事件の被害者も加害者も出さない為に早急な対策を講じて頂きたい。市の取り組み、小中学校での対策、警察署や保健所などの連携状況を知りたい。

(担当者) 東京都から委嘱を受けた薬物乱用防止指導員による薬物撲滅活動が行われている。また桜まつりや商工まつりなどでも青

少年の薬物撲滅指導などを実施している。

市内小中学校全校においては、警察署職員や薬剤師などと連携し、薬物乱用防止教室を実施している。さらに小学六年生の保護者を対象に薬物に関するリーフレットを配布し、子どもばかりでなく保護者に対しての啓発活動も実施している。

さらに府中警察署と連携し広報活動も行い、薬物防止キャラバンカーをイベント会場へ要請し、一層効果の高い啓発活動の実施にも努めている。

多摩府中保健所との活動は、薬物乱用防止推進地区協議会に市指導員を派遣し、最新情報の共有、各地区からの活動状況の報告や情報交換を実施している。

(臼井) これからもより一層の薬物撲滅に向けた様々な活動を積極的に行って頂きたい。たとえば薬物依存者のリハビリ施設『ダルク』などから専門講師を招き、学校などで講演会を毎年実施するなど、薬物現場に携わっている方々の生の声を聞く事が出来る機会も提供して頂きたい。

府中市としても国や東京都と密に連携を図り情報収集をしっかりと行い、薬物撲滅に向けて柔軟かつ迅速に一步も二歩も踏み込んだ対策と事業展開を行って頂くよう強く要望する。



## 耳寄り情報！！

人間ドッグには 10,000 円の助成金

人間ドッグの受診費用の一部を助成する制度があるのですが、利用者が大変少ないことが先日の決算委員会で分かりました。いくつかの条件はありますが、市民の皆様が医療機関で人間ドッグを受診された際には、受診料の 1/2 (上限 10,000 円)の助成金が府中市から出ます。受診後 1 年以内であれば申請できますので、すでに受診された方も是非この制度をご活用ください。詳しくはこちら。  
<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/smph/kenko/kenko/docjyosei.html>

担当は府中市健康推進課(042-368-5338)

## よくある質問に答えます！！

いま話題の政務活動費・・・府中市議会はいくら？

某兵庫県議会議員の号泣会見をきっかけに政務活動費の不正使用が問題となっています。一議員あたり兵庫県議会は 6,000,000 円(年)、東京都議会は 7,200,000 円(年)支給されます。議員活動をする上で必要な経費として使用する事が出来、会派にまとめて支給される事が多いです。当たり前ですが私的に利用する事は出来ず、領収書添付のもと適正に会計処理をしなくてはなりません。ちなみに府中市議会は 540,000 円(年)となっています。市政会では主に図書費、会派広報費、研修費、事務用品費、市役所内のコピーリース料などに使用しています。

## ふちゅつトピックス

### スマイル商品券スマイル建設券

#### ついに発売！！

商品券は一万円(現金)で一万二千円分(額面)、建設券は五万円(現金)で五万五千円分(額面)で上限は一世帯二十枚までとなっています。販売日時は十一月三〇日から、販売場所はむさし府中商工会議所、伊勢丹フォーリス一階、市内文化センター(中央・押立を除く)です。詳細は府中市経済観光課までお問い合わせ下さい。

### 府中市制施行六十周年記念

#### 市民パレード

十月十九日(日)、市制施行六〇周年を祝しまして、市民パレードが開催されます。二十四張の大太鼓の饗宴、府中小唄の民謡流し、府中囃子による山車の巡行、くらやみ祭りでおなじみの万灯の巡行が行われます。私も市議会議員団の一員として民謡流しに参加させて頂きます。見かけましたら是非お声掛けください。



詳細なスケジュールはこちらでご確認ください。  
(<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/bunka/sisei60/60parade.html>)

### 臨時福祉給付金

#### 子育て世帯臨時特例給付金

四月一日の消費税 8% への引き上げに伴い、所得の低い方や子育て世帯の負担を考慮して、「臨時福祉給付金」と「子育て世帯臨時特例給付金」を支給しています。受給対象者でまだ手続きを済まされていない方が多数あります。ご確認の上、ご不明な事は臼井まで、もしくは府中市地域福祉推進課(042-335-4161)にお問い合わせ下さい。

### 第3回ことぶき杯

#### チャリティゴルフコンペご報告

六月二十五日(水)に第三回ことぶき杯チャリティゴルフコンペを開催しました。八十七名の方々に参加頂きましたこと、心より御礼申し上げます。府中市を通じて福祉団体へ八万七千円の寄付をさせて頂きました事をご報告申し上げます。



どんな些細な事でも結構です。皆様ご自身やご家族・お知り合いの方で、何か市政に関してお困りの事やご不明な事がありましたらお気軽に下記までご連絡下さい。ご自宅にお伺いもします。

(うすい かつひさ)

府中市議会議員 臼井 克寿  
090-3477-6869(携帯)  
042-319-8840(自宅)  
府中市日鋼町1-3 19-302